

家庭学習の手引き

家庭を学びの環境に

～ 進んで学ぶ子どもを目指して ～



家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣をつけるためにもとても大切なものです。

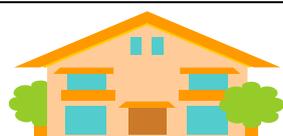
もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方によってその育ち方は大きく変わります。

「継続は力なり」の言葉にあるように、計画的、継続的、丁寧な取り組みを積み上げ、身につけていくことが、後々大きな力を発揮するものになると考えます。

家庭学習推進の参考資料として“家庭学習の手引き”をご家庭で活用してください。

「家庭学習の手引き」を通して育てたい子どもの姿

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境作り
- 認め、励まし、対話のある温かいふれ合い



家庭で

進んで学ぶ力
心身の健康



- 基礎学力の定着を図り、知識や技能、学び方を教え、主体生を育てる学習指導



学校で

1. 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
2. 学習の習慣や方法を身につけた子ども
3. 生活時間の有効な使い方を身につけた子ども

1. 基礎的・基本的な学習内容とは…

おおまかに言うと、学校で学習する(教科書に載っている)内容のことです。特に、以下の内容は学年間でつながりますので、学習した学年で確実に身につけておかないと、次の学年で困ることになります。

- 教科書に出ている程度の文章をすらすら読むこと
- 教科書に出ている漢字を読んだり、書いたりすること
- 算数の教科書に出ている程度の問題を解くこと

～ 「わかった」ことを「できる」ようになるまで!! ～

※ ここでいう「できる」とは、「はやく、正しく、ていねいに」やれることをいいます。そのためには、繰り返し練習することが重要です。

2. 家庭学習の方法や習慣づくり

(1) 家庭学習の時間・態度

- ① 毎日、必ず学習する。
(10分×学年) + 10分以上を目安に取り組む。
- ② 学習中は、テレビを消す。
- ③ 机の上をきれいにし、姿勢をよくして行う。



(2) 家庭学習の内容

- ① 宿題をやる。
- ② 復習をする。→ 学習した内容を、授業用ノートと見比べながら、教科書を読んだり、家庭学習ノートにまとめ直したり、テストの問題を解き直したりする。
また、購入したワークやドリルをやる。
- ③ 予習をする。→ 次の日に学習する予定のところに目を通す。

(3) 日常生活でできること

- ① 読書をする。→ 好きな表現の視写・暗唱もよい。
- ② 新聞に目を通す。
- ③ 自然や生き物とふれあい、観察する。
※ ①～③で気になったことは、辞典や図鑑・インターネットで調べる習慣がつくと、興味・関心や理解がより深まります。
- ④ 日記を書く。→ 習った言葉や真似してみたい表現を使ってみる。

3. 生活時間の有効な使い方

(1) 睡眠時間…「9～10時間」

小学生に必要なと言われている時間の目安です。必要な睡眠時間は、一人一人異なります。夜更かしをして睡眠不足になっていないか子どもと一緒に話し合い、早寝早起きの習慣をつくりましょう。

(2) メディアに触れる時間…「1日2時間以内」

平日、家でメディア(TV, ゲーム, インターネット, 携帯電話など)に触れる限度としての時間の目安です。家庭での約束を決めて、十分な学習時間や睡眠時間などを確保しましょう。

コラム 「伸びる子ども」の4つのタイプ

「勉強のコツがよくわかる本」より引用

★丁寧に組み立てる子 ★まじめに取り組める子 ★挑戦する子 ★最後までやる子

※1つでもあれば大したもの。これらの条件は「備わったもの」ではなく「育てるもの」であり、2年間でできるようにさせられたら上等である。

※上達は、毎日少しずつ訪れてくるのではない。毎日毎日、少しずつ貯金したものを、いっぺんにドーンと返してもらうように訪れるのだ。

1ねんせいの かていがくしゅうでは…

もくひょう

- ★ いえに かえったら すぐに しゅくだいを しましょう。
- ★ かってもらったドリルも、すこしずつ やっていきましょう。
- ★ まいにち **20ぷん**いじょうは がくしゅうしましょう。
- ★ テレビを みないで やりましょう。

かていがくしゅうの まえに

- ☆がっこうからの おてがみは、おうちのひとに わたしましたか。
- ☆べんきょうする ばしょは、かたづいていますか。
- ☆しせいや えんぴつの もちかたは ただしいですか。



～ こんなやりかたで やってみましょう ～



がくしゅう	やりかた
もじの れんしゅう (せん, ひらがな, かたかな, かんじ)	☆てほんの じの かたちを よくみて、ゆっくり かきます。 ☆「とめる」「はらう」「はねる」に きをつけて かきます。 ☆ただし かきじゅんで、なんども かきます。 ☆ただし しせいで かきます。
さんすう	☆プリントやドリル、きょうかしょの もんだいを やります。 ① まずは、ゆっくり ただしく けいさんできるように します。 ② ただしく けいさんできるようになったら、すこしずつ はやく できるように れんしゅうします。 ③ まちがった もんだいは かならず みなおして、もういちど やりなおします。
おんどく	☆たのしみながら、おおきなこえで よめるように します。 ☆ , や 。 に きをつけて、すらすら よめるように れんしゅう します。
そのほか	☆けんぱんハーモニカの れんしゅうも いいですよ。

かていがくしゅうの あとに…

- ☆じかんわりを たしかめて、あしたの じゅんびを します。
(きょうかしょや ノート, あした つかう どうぐを そろえる。)
- ☆えんぴつは けずりましたか。



2年生の かてい学習では…

もくひょう

- ★ 家に 帰ったら すぐに しゅくだいを しましょう。
- ★ 買ってもらったドリルも、少しずつ やっていきましょう。
- ★ まい日 **30分**いじょうは 学習しましょう。
- ★ テレビを 見ないで やりましょう。

かてい学習のまえに

- ☆学校からのお手紙は、お家の人に わたしましたか。
- ☆べんきょうする場所は、かたづいていますか。
- ☆しせいや えんぴつの もち方は 正しいですか。



～ こんなやり方で やっていきましょう ～



学習	やり方
かん字 書き写し	<ul style="list-style-type: none"> ☆手本の字の形を よく見て、ゆっくり 書きます。 ☆「とめ」「はね」「はらい」に 気をつけて 書きます。 ☆正しい書きじゅんで なんども 書きます。 ☆正しいしせいで 書きます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ☆プリントやドリル，教科書の もんだいを やります。 ① まずは、ゆっくり 正しく 計算できるようにします。 ② 正しく計算できるようになったら、少しずつ はやくできるように れんしゅうします。 ③ まちがった もんだいは かならず 見直して、もういちど やり直します。 ☆自分で もんだいを作って といてみます。
音読	<ul style="list-style-type: none"> ☆楽しみながら、大きな声で 読めるようにします。 ☆ ， や 。 に 気をつけて、すらすら 読めるように れんしゅう します。
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ☆けんぱんハーモニカが 上手にふけるように れんしゅうするのも いいですね。

かてい学習のあとに…

- ☆時間わりをたしかめて、明日のじゅんびを します。
(教科書やノート，明日つかう道具を そろえる。)
- ☆えんぴつは けずりましたか。



3・4年生の家庭学習では…

もくひょう

- ★ 家に 帰ったら すぐに 宿題を しましょう。
- ★ 買ってもらったドリルなども、ためずに やっていきましょう。
- ★ **3年生は40分、4年生は50分**以上、毎日学習しましょう。
- ★ テレビを 見ないで やりましょう。

家庭学習の前に

- ☆学校からのお手紙は、お家の人に わたしましたか。
- ☆勉強する場所は、かたづいていますか。
- ☆しせいや えん筆の持ち方は 正しいですか。



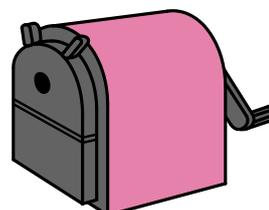
～ こんなやり方で やっていきましょう ～



学習内容	やり方
漢字の練習 視写 辞典の活用	<ul style="list-style-type: none"> ☆手本の字の形をよく見て、「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて 書きます。 ☆正しい書き順で、繰り返し練習します。 ☆わからない言葉は、国語辞典や漢字辞典で調べます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ☆正しい手順で計算（筆算）ができるようになるまで、繰り返し練習します。 ☆文章問題では、問われている内容確かめてからときます。 ☆間違った問題は、必ず見直して、もう一度やり直します。 ☆自分でも問題を作って、といてみます。 ☆コンパスや分度器の使い方になれておきます。
音読	<ul style="list-style-type: none"> ☆国語の教科書で学習したページは、声に出して読み直します。 ☆他の教科でも、次の授業のページを声に出して読んでみます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ☆リコーダーが より上手にふけるように練習するのも いいですね。

家庭学習の後に…

- ☆時間わりをたしかめて、明日のじゅんびをします。
- （教科書や筆記用具など、明日使う学習道具を そろえる。）



5・6年生の家庭学習では…

目 標

- ★ 見通しをもって、自分にあった学習習慣を身につけましょう。
- ★ 宿題や購入したドリルなどは、ためずにやり遂げましょう。
- ★ **5年生は60分、6年生は70分**以上、毎日学習しましょう。
- ★ 自分の興味や関心、弱点の克服など、主体的な学習にも取り組みましょう。

家庭学習の前に

- ☆学校からのプリント類は、お家の人に渡しましたか。
- ☆勉強する場所は、片付いていますか。
- ☆正しい姿勢になっていますか。



～ こんなやり方で やっていきましょう ～



学習内容	やり方
国語	☆学習した（する予定）のところを2～3回音読する。 また、好きな表現を視写したり、暗唱したりしてみる。 ☆漢字や語句の意味を調べて、短文作りに挑戦してみる。 ☆教科書の手引きや授業ノートをもとに、学習の要点をまとめる。
算数	☆学習した公式や単位について、身近なもので確かめてみる。 ☆正しい手順で、より速く計算（筆算）ができるようになるまで、繰り返し練習する。 ☆文章問題では、問われている内容を線分図などに図式化してから解く。 ☆間違った問題は消さずに残し、どこで間違えたのかを明らかにしながらやり直す。
理科 社会	☆教科書に出てきた実験、観察、地名、資料などの用語をもとに、学習した内容をまとめる。 ☆学習した（する予定）で気になったことは、辞典や図鑑、地図、インターネットなどで調べてみる。

家庭学習の後に…

- ☆時間割を確かめて、明日の準備をします。
(教科書や筆記用具など、明日使う学習道具をそろえる。)

